

県域 準絶滅危惧



環境省レッドリスト(2018) 準絶滅危惧 (NT)

カジカ中卵型と似るが、やや小型で体色は一般的に地味。河川の上流域に生息する。 全長:約10cm

カジカ科 カジカ属

【全長】15cm

## カジカ大卵型

学名: *Cottus pollux*

分布域

本州のほぼ全域と四国・九州に分布する。

生息域

河川の上流域。石礫底を好む。



頬部には暗色の線状斑紋が視られない。

形態的にはカジカ中卵型と似る。体色は地域差や個体差があり、変異に富む。頬部の2本の暗色線は弱く、胸鰭の軟条数は12~14本で、やや少ない。卵の直径は2.6~3.7mmでやや大きい。食性は動物食性で底生動物や水生昆虫・小魚などを食べる。産卵期は春~夏(3~7月)で比較的長い。産卵方法はウツセミカジカと同じだが、仔魚は孵化直後に底生生活に入り、淡水域だけで一生を送る生活史をとる。

水槽での長期飼育はウツセミカジカと比較しやや難しい。水流が必要な様で、夏場の水温上昇にも注意したい。餌は活きた小型の甲殻類や小魚を好む。やや大きめの石など隠れ場所を用意してやるとよい。

在来種

純淡水魚

※ ウツセミカジカが堰などによって陸封されることで、生息地での識別が困難なことがあったり、胸鰭の軟条数も重複する。眼から頬部に伸びる暗色線の有無でのみ識別するには若干の疑問が残る。